

<八綱弁証>

表裏：表… 発症が急性のものであり、外感病の要素が強い。

虚実：虚実狭雑… 起点は外感病であり、実があるが、元来冷え性であったこと、新しい職場での生活に疲弊していたことから虚があることが考えられる。

寒熱：熱… 痰がやや黄色調、軽い口渇

<病因病邪弁証>

風燥の邪→熱邪に変化

<病機>

元来やや冷え性（肺気虚→腎虚気味→冷え性）

↓

新しい職場での生活で疲れる（気虚が悪化）

↓

邪の侵襲を受けやすくなる

↓

ストレスにより肝の機能低下

↓

風燥の邪が口鼻から入る

↓

気滞を生じる

↓

咽頭痛、咳

↓

肝が気滞から熱を生じる

↓

邪が肺に移る（肝火の影響で風燥から熱邪に変化）

↓

火が上行して眼が充血する

↓

口渇、熱感、黄色痰、舌体紅

↓

腎虚による冷えと熱邪による熱感の往来

<治法>

清熱透表+疏肝解鬱

<処方>

小柴胡湯

柴胡 6.0、半夏 4.0、黄ごん 3.0、大棗 3.0、人参 3.0、甘草 2.5、生姜 1.5